

令和 2 年 9 月 14 日現在

機関番号：32716

研究種目：基盤研究(C) (一般)

研究期間：2017～2019

課題番号：17K02386

研究課題名(和文) アートマネジメント教育に係る国際組織の研究

研究課題名(英文) A Study of International Organizations for the Education of Arts Management

研究代表者

佐藤 良子 (Sato, Yoshiko)

昭和音楽大学・音楽学部・講師

研究者番号：50634622

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 3,200,000円

研究成果の概要(和文)：本研究はアートマネジメント教育に係る国際組織を主な対象として調査を行い、国際的な動向を把握するとともに、国内外のアートマネジメント教育に関する情報収集と課題の分析にもとづき、日本のアートマネジメント人材の育成方策を検証することを目的とする。調査の結果、グローバル化の進展に伴い、アートマネジメント教育の分野においても北米、欧州、アジアの各地域をまたぐ組織間ネットワークが拡大傾向にあることを把握した。これらの国際組織の活動に関する国内の先行研究は少なく、本研究において実態を明らかにしたことにより、アートマネジメント教育者を支援する仕組みやカリキュラムのあり方について重要な示唆を得ることができた。

研究成果の学術的意義や社会的意義

調査対象組織のひとつ、Association of Arts Administration Educators (以下AAAE) が編纂した最新の学部レベルのカリキュラムスタンダードを日本で初めて翻訳し、これを所収した冊子「AAAEのカリキュラムスタンダード」を発行した(2019年)。これを踏まえてフォーラム「アートマネジメント教育の国際的動向-AAAEの活動とカリキュラムスタンダードを中心に-」を開催した(2019年)。以上の成果はアートマネジメント教育の国際的な動向を把握するうえで重要なエビデンスを示しており、国内のアートマネジメント教育の客観的な検証にも資するものとして重要な意義を持つ。

研究成果の概要(英文)：This research aims to consider the human resource development of Japanese arts managers. Based on a survey targeting international organizations for the education of arts management (ex. AAAE, ENCATC, etc.), we analyzed the trends and issues related to arts management education at home and abroad. We also translated the curriculum standards compiled by AAAE for the first time in Japan and published the booklet "The Translation of AAAE's Standards for Arts Administration Undergraduate Curricula" (2019).

As a result of the survey, we found that the network of organizations across the regions of North America, Europe, and Asia is expanding in the field of arts management education with the progress of globalization.

There are few preceding studies in Japan on the activities of these international organizations. In this study, we were able to obtain important suggestions about the standards for curriculum of arts management education and the system for supporting arts management educators.

研究分野：アートマネジメント

キーワード：アートマネジメント教育 カリキュラム 人材育成 国際組織 ネットワーク 芸術政策・産業

様式 C-19、F-19-1、Z-19（共通）

1. 研究開始当初の背景

アートマネジメント教育は、日本では1990年代に本格的に大学の授業科目ないし学科として導入された。以来20年余が経過し、国においても大学等における人材育成が期待されている中、あらためてアートマネジメント人材の育成方を客観的に検証するべき時期に来ている。一方、国際的にはアートマネジメント分野の教育及び研究を促進することをミッションとする組織が相次いで設立され、ネットワークが広がりつつある。翻って日本では、このような国際組織との連携構築は未成熟であり、一部の大学や研究者の個別参加に留まる。国際的な動向を注視する必要があるにも関わらず、国内の先行研究では上述のような国際組織の活動等に関する最新の情報ないし詳細な実態把握が行われていない。

研究代表者は博士学位論文「文化施設における人材の育成方策についての研究-組織論的な面からみた音楽ホールの果たす諸機能を支える専門的な人材の育成」（東京藝術大学、2010年）において、劇場・ホール等で必要とされる運営を担う人材の育成方策について研究した。同時期に国においてアートマネジメント人材の育成方策が課題とされたことから、これに関する資料等をフォローアップするとともに、昭和音楽大学音楽芸術運営学科アートマネジメントコースの教員を務めていた。また、研究分担者は同大学アートマネジメントコースにおいて教員を務めるとともに、同大学における2000-2001年度共同研究「アートマネジメント教育と人材養成に関する研究」への従事を始めとして、国内外のアートマネジメント教育に関する情報収集・研究を行い、最近の研究成果として「AAAE（アートアドミニストレーション教育者連盟）とアートマネジメント教育のカリキュラムスタンダード」（昭和音楽大学『音楽芸術運営研究』第8号、2015年、pp.27-34）を公表している。このことから、研究代表者、研究分担者の先行研究を進展させ、アートマネジメント教育の国際的な動向について包括的かつ詳細に調査を行うことが必要と考え、本研究の着想に至った。

2. 研究の目的

上述のように、アートマネジメント教育に関する国内の研究において、とりわけ不足しているのが国際的な動向に関する調査である。すでに、高等教育機関等が加盟するアートマネジメント教育に係る国際的な組織が相次いで設立されており、米国を拠点とする Association of Arts Administration Educators（略称：AAAE）、ベルギーを拠点とする European network on cultural management and policy（通称：ENCATC）、シンガポールを拠点とする Asia-Pacific Network for Cultural Education & Research（略称：ANCER）等が挙げられる。本研究はこれらの国際組織を主たる対象とし、活動の目的、活動実態、組織構成等を調査し、国際的な動向を把握するとともに、国内外のアートマネジメント教育及び人材育成に関する情報収集及び課題の分析を行い、高等教育機関を中心とする音楽系アートマネジメント人材の育成方を検証することを目的としている。

3. 研究の方法

本研究は研究代表者・研究分担者計2名により、次のような方法で進めた。まず、①アートマネジメント教育に係る国際組織の実態を把握するため、文献調査、現地における会議等への参加（参与観察）、インタビュー調査を実施した。これによって得た資料のうち、AAAEが編纂したカリキュラムスタンダードについては、本研究において特に重要な資料と位置づけ、研究協力者2名を加えた研究会を2カ年にわたり開催し、その読み込みと邦訳作業を行った。並行して②国内外のアートマネジメント教育に関する文献調査を行い、国内については、その歴史の変遷を論文にまとめた。

①・②の結果を踏まえ、最終年度には③国内外の研究者を迎えてアートマネジメント教育フォーラムを開催し、国際的動向及び国内の現状について議論する場を設けた。また、④上記研究協力者のほか、アジアやヨーロッパの国際組織の最新動向について、事情に詳しい研究者を招き研究会を開催することによってこれまでの調査を補完した。なお、アジアの動向についてはシンガポールのアートマネジメント教育関係者にヒアリングをするため、シンガポールへの渡航を予定していたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、やむを得ず渡航を中止した。以上の調査活動により、アートマネジメント教育の国際的な動向を分析するとともに、日本のアートマネジメント教育の課題と今後の可能性について検討した。

4. 研究成果

本研究における重要な研究成果として、下記の2つの業績を挙げることができる。

（1）報告書「AAAEのカリキュラムスタンダード」の発行（2019年）

アートマネジメント教育に係る国際的な組織のうち、1970年代に設立され最も長い歴史を持つ団体がAAAEである。また、同種の国際的な組織の中で唯一AAAEのみが、会員の大学等高等教育機関に向けてカリキュラムスタンダードを編纂している。このカリキュラムスタンダードの内容を分析するため、2017年度から研究代表者、研究分担者、研究協力者で研究会を開催し、資料の読み込みを進めていたところ、AAAEが新たに大学学部プログラム向けカリキュラムスタンダード（2018年3月改訂版）を公表した。これを受けて2018年度も研究会を継続開催し、最新の学部プログラム向けカリキュラムスタンダード（2018年3月改訂版）を日本で初めて翻訳し、国内関連学会で共同発表するとともに、成果物として「AAAEのカリキュラムスタンダー

ド Standards for Arts Administration Undergraduate Curricula, Version: March 2018』と題した報告書を発行した（2019年3月）。当該報告書は国内のアートマネジメント教育関係者等のみならず、2019年度に参加した AAAE の年次総会において AAAE の会長ほか関係者にも配付し、国内外で研究成果を共有した。

（2）アートマネジメント教育フォーラムの開催（2019年）

米国から AAAE の役員経験もある気鋭の若手研究者を招聘し「アートマネジメント教育の国際的動向-AAAAE の活動とカリキュラムスタンダードを中心に-」（The International Trend of Arts Management Education - The Activities of AAAE and its Curriculum Standards - ）と題したフォーラム（昭和音楽大学、2019年9月）を開催した。本フォーラムには研究代表者、分担者を含む日本の4名の研究者も登壇し、アートマネジメントの元教員、現職の教員、学生、卒業生、及び実務者まで幅広い参加者を得て、AAAAE の活動等を紹介しつつ国内の現状についても議論することができた。

以上の成果として、これまで国内の先行研究において不足していたアートマネジメント教育の国際的な動向に関する重要なエビデンスを提示し、日本におけるアートマネジメント人材の育成方策に関する課題、すなわち教育プログラム及び教育者の支援と啓発の観点からさらなるサポートが必要であることを提起することができた。また、研究活動の一環として AAAE や ENCATC の年次総会等に参加したことにより、両者を中心に国際組織のネットワーク化が進んでおり、アートマネジメント教育の分野においても北米、欧州、アジアの各地域をまたぐ組織間ネットワークが拡大傾向にあることを把握することができた。

5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計4件（うち査読付論文 4件/うち国際共著 0件/うちオープンアクセス 0件）

| | |
|---|---------------------|
| 1. 著者名 佐藤良子 (Yoshiko Sato)、武濤京子 (Kyoko Takenami) | 4. 巻 13 |
| 2. 論文標題 アートマネジメント教育フォーラム「アートマネジメント教育の国際的動向-AAAEの活動とカリキュラムスタンダードを中心に-」実施報告 (Report of the Arts Management Education Forum "The International Trend of Arts Management Education -The Activities of AAAE and its Curriculum Standards-") | 5. 発行年 2020年 |
| 3. 雑誌名 昭和音楽大学 音楽芸術運営研究 (Annual Report Institute of Arts Management) | 6. 最初と最後の頁 67-74 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし | 査読の有無 有 |
| オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著 - |
| 1. 著者名 佐藤良子 (Yoshiko Sato) | 4. 巻 12 |
| 2. 論文標題 アートマネジメント及び文化政策の教育に係る国際ネットワーク組織の活動 - 2017・2018年のAAAE及びENCATCの活動への参加報告 (The Activities of International Organizations for the Network of Arts Management and Cultural Policy Education : a Report on Participation in AAAE and ENCATC Activities 2017-2018) | 5. 発行年 2019年 |
| 3. 雑誌名 昭和音楽大学 音楽芸術運営研究 (Annual report Institute of Arts Management) | 6. 最初と最後の頁 59-75 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし | 査読の有無 有 |
| オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著 - |
| 1. 著者名 佐藤良子 (Yoshiko Sato) | 4. 巻 11 |
| 2. 論文標題 日本のアートマネジメント教育に関する調査研究の歴史とその論点 (The history of research and summary of issues in arts management education in Japan) | 5. 発行年 2018年 |
| 3. 雑誌名 昭和音楽大学 音楽芸術運営研究 (Annual report Institute of Arts Management) | 6. 最初と最後の頁 20-33 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし | 査読の有無 有 |
| オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著 - |
| 1. 著者名 武濤京子 (Kyoko Takenami) | 4. 巻 11 |
| 2. 論文標題 アートアドミニストレーション教育者連盟 (AAAE) の歴史と現状、今後の展望 (History and Future Perspective of AAAE) | 5. 発行年 2018年 |
| 3. 雑誌名 昭和音楽大学 音楽芸術運営研究 (Annual report Institute of Arts Management) | 6. 最初と最後の頁 59-65 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし | 査読の有無 有 |
| オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著 - |

〔学会発表〕 計4件（うち招待講演 0件 / うち国際学会 1件）

| |
|---|
| 1. 発表者名 佐藤良子、武濤京子 |
| 2. 発表標題 アートマネジメント教育に係る国際組織の機能:教育プログラム及び教育者の支援と啓発 |
| 3. 学会等名 日本文化政策学会第13回研究大会 |
| 4. 発表年 2019年 |

| |
|--|
| 1. 発表者名 Yoshiko Sato, Kyoko Takenami |
| 2. 発表標題 The Characteristics of Japanese Arts Management Education : A case study of Showa University of Music |
| 3. 学会等名 Association of Arts Administration Educators The 37th Annual Conference (国際学会) |
| 4. 発表年 2018年 |

| |
|---|
| 1. 発表者名 佐藤良子、武濤京子、中尾知彦、伊志嶺絵里子 |
| 2. 発表標題 AAAEによるStandards for Arts Administration Undergraduate Curricula改訂について |
| 3. 学会等名 日本アートマネジメント学会第20回記念全国大会 |
| 4. 発表年 2018年 |

| |
|--|
| 1. 発表者名 佐藤良子、武濤京子 |
| 2. 発表標題 The Association of Arts Administration Educators(AAAE)の活動:アートマネジメント教育の歴史と国際ネットワーク |
| 3. 学会等名 日本文化政策学会第11回年次研究大会 |
| 4. 発表年 2017年 |

〔図書〕 計0件

〔産業財産権〕

〔その他〕

【報告書】佐藤良子、武瀧京子、中尾知彦、伊志嶺絵里子 (Yoshiko Sato, Kyoko Takenami, Tomohiko Nakao, Eriko Ishimine) 「AAAEのカリキュラムスタンダード Standards for Arts Administration Undergraduate Curricula, Version: March 2018」 (The Translation of AAAE's Standards for Arts Administration Undergraduate Curricula)、2019年、全40頁。

6. 研究組織

| | 氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号) | 所属研究機関・部局・職 (機関番号) | 備考 |
|-------|---|---|----|
| 研究分担者 | 武瀧 京子 (Takenami Kyoko) (90339903) | 昭和音楽大学・音楽学部・教授 (32716) | |
| 研究協力者 | 中尾 知彦 (Nakao Tomohiko) (50434535) | 慶應義塾大学・文学部(三田)・准教授 (32612) | |
| 研究協力者 | 伊志嶺 絵里子 (Ishimine Eriko) | 東京藝術大学 (12606) | |